

2021年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	教育政策と社会(児童の権利)		教員氏名	鈴木敏彦		
学年	2年		開講学期	後期		
授業形態	講義		単位数	2単位		
必修・選択	幼免必修		実務経験	ソーシャルワーカー(社会福祉士)	5年	
テーマ	教育・保育・福祉をめぐる動向と子どもの権利を理解する					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。					○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。					
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。					
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	<p>子どもの生きる力を信じ、子どもの権利を尊重することは、これからの教育・保育・児童福祉の専門職にとって不可欠と言えます。本科目は、「子どもの権利」に関する総合的な理解をはかるとともに、教育に関する社会的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)に関する基本的な知識を修得することを目的としています。授業担当者は、社会福祉士として「神奈川県意思決定支援専門アドバイザー」の任につき、障害者の意思決定支援に従事しています。こうした経験から、福祉サービス利用者(子ども)の権利の擁護者としてのあるべき姿を、受講者の皆さん一人ひとりが考える機会をつくります。</p>					
授業の到達目標	子どもの権利を形成する思想とそのあゆみ及び子どもの権利条約の概要を理解し、説明することができる。					
	子どもの権利を基軸とした、現代の幼児教育・保育・児童福祉について社会的側面から理解し、併せて幼児教育における地域との連携及び安全等に関する基本的知識を修得し、説明することができる。					
	子どもの権利擁護者としての幼稚園教諭・保育士等の役割を理解し、自らが権利擁護実践を担う者である自覚をもち、自らの言葉で表現することができる。					
テキスト	なし(プリントを配布いたします)					
参考書	・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・保育所保育指針・保育福祉小六法					
ポートフォリオ	授業ワークシート及び課題レポート(google classroomにより提出)をポートフォリオに保存する。					
往還型授業(双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進めるなかで生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする					○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する					
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					○
	ICT(Googleclassroomを含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する。					○
その他:						
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	0				
	授業内課題参加度出席態度等	60	・学習内容(知識)定着評価(50%) ・学習内容(思考・表現)定着評価(授業ワークシート)(10%)			
	その他	40	・学習内容(思考・表現)定着評価(課題レポート)×2回(20%×2)			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	子どもと社会(1)導入・子どもの権利と幼児教育・保育・児童福祉専門職の役割	
	授業外学習	[事前学習]なし [事後学習]授業時に配布されたプリントを見直し整理する	55分
第2回	テーマ 内容	子どもと社会(2)子どもの生活の変化と幼児教育の課題	
	授業外指示	[事前学習]授業プリントに予め目を通し内容の理解に努める [事後学習]授業プリントを見直し整理する	55分
第3回	テーマ 内容	子どもの権利の概要(1)子どもの権利をめぐる思想の形成過程	
	授業外指示	[事前学習]授業プリントに予め目を通し内容の理解に努める [事後学習]授業プリントを見直し整理する	55分
第4回	テーマ 内容	子どもの権利の概要(2)子どもの権利条約の概要	
	授業外指示	[事前学習]授業プリントに予め目を通し内容の理解に努める [事後学習]授業プリントを見直し整理する	55分
第5回	テーマ 内容	子どもの権利と現代社会(1)子どもの権利条約とわが国の課題	
	授業外指示	[事前学習]授業プリントに予め目を通し内容の理解に努める [事後学習]授業プリントを見直し整理する	55分
第6回	テーマ 内容	子どもの権利と現代社会(2)子どもの権利条約と幼児教育・保育・児童福祉の政策動向(日本)	
	授業外指示	[事前学習]授業プリントに予め目を通し内容の理解に努める [事後学習]授業プリントを見直し整理する	55分
第7回	テーマ 内容	子どもの権利と現代社会(3)子どもの権利条約と世界の課題	
	授業外指示	[事前学習]授業プリントに予め目を通し内容の理解に努める [事後学習]授業プリントを見直し整理する	55分
第8回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践(1)地域における連携・協働の考え方	
	授業外指示	[事前学習]授業プリントに予め目を通し内容の理解に努める [事後学習]授業プリントを見直し整理する	55分
第9回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践(2)地域における連携・協働の実践	
	授業外指示	[事前学習]授業プリントに予め目を通し内容の理解に努める [事後学習]授業プリントを見直し整理する	55分
第10回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践(3)子どもの安全に関する考え方と実践	

第10回	授業外指示	[事前学習]授業プリントに予め目を通し内容の理解に努める [事後学習]授業プリントを見直し整理する	55分
第11回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践(4)子どもの権利擁護の考え方	
	授業外指示	[事前学習]授業プリントに予め目を通し内容の理解に努める [事後学習]授業プリントを見直し整理する	55分
第12回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践(5)子どもの権利擁護の実践	
	授業外指示	[事前学習]すべての授業プリントを整理し授業時に持参する [事後学習]今後の学びの課題を自ら考える	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ	
	授業外指示	[事前学習]すべての授業プリントを整理し授業時に持参する [事後学習]今後の学びの課題を自ら考える	55分

#### 課題に対するフィードバックの方法

- ・授業内および授業外学習に関する質問等は、授業前後の時間及びオフィスアワー(別途掲示)にて対応する。
- ・提出されたレポート等は、授業時及びGoogle classroomにてフィードバックを行う。

#### 《授業外学習時間について》

※「授業外指示」欄に示された授業外学習時間は標準的な学習時間を示したものであり、個々の学習状況等により変動する。

※上記以外の授業外学習時間は以下のとおりである。

- ・「学習内容(知識)定着評価」に関する学習:5時間(300分、授業のまとめ)相当
- ・「学習内容(思考・表現)定着評価(授業ワークシート)」に関する学習:3.6時間(240分、ワークシート作成20分×12回)相当
- ・「学習内容(思考・表現)定着評価(課題レポート)」に関する学習:15時間(900分、文献検索、読書、レポート作成)相当